

第5次病院構造改革推進方策案（R6～R10年度）の概要

【第5次病院構造改革推進方策案の位置づけ】
 ・公立病院経営強化ガイドライン（総務省）に基づく経営強化プラン
 ・「ひょうごビジョン2050」のめざす姿「安心して長生きできる社会」を実現する病院事業分野の実行プログラム

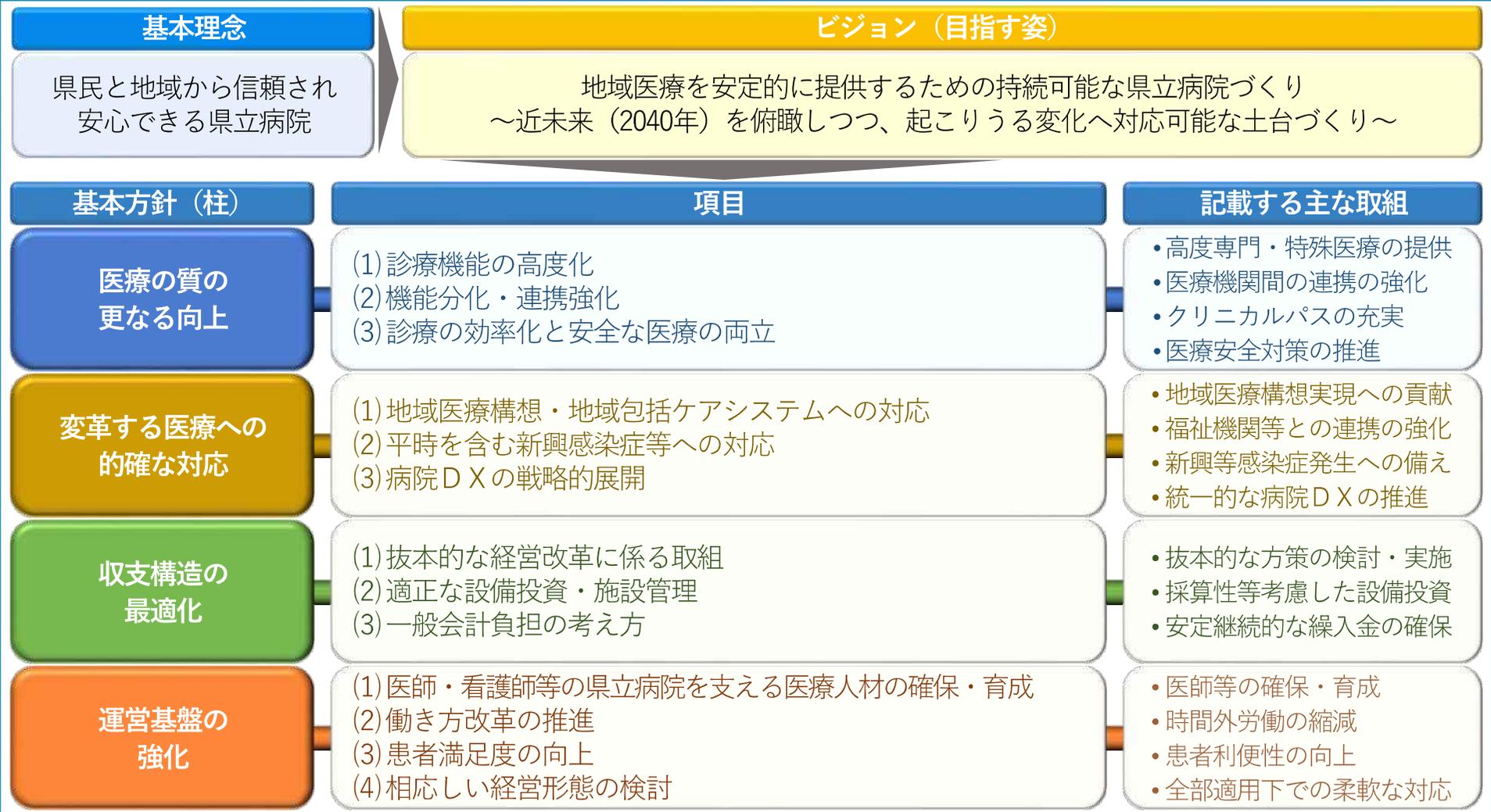
課題・環境変化

- 新興・再興感染症発生時における通常医療との両立
- AI・ICTの進化とサイバー攻撃の脅威の増大
- コロナ禍を経た受療行動や人口減少・年齢構成の変化に伴う医療需要の変化
- 医療の高度化に伴う高額医療機器・医薬品の増加や各種物価高騰
- 生産年齢人口の減少の加速化と働き方改革の推進

対応・第4次方策からの変更点

- 課題・環境変化に的確に対応し期間中に目指す姿としてビジョンを設定
- ビジョンの実現に向け再編した基本方針（4つの柱）のもと施策を展開

体系図



地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能、目指す姿

－ ひょうごこころの医療センター

役割・機能、目指す姿

- 県内唯一の公立精神科単科病院として、精神科急性期医療を中心に、24時間365日体制での精神科救急患者の受入れ、アルコール依存症や児童思春期精神科医療をはじめ、認知症疾患、ストレスから生じるうつ病等気分障害への特殊・専門医療等、時代の流れや社会のニーズも踏まえながら、他の医療機関では対応が困難な精神科医療を担う。
- 災害拠点精神科病院として、大規模災害時には被災精神科病院へのD P A T先遣隊の派遣や避難が必要な患者の搬送受入等、最善の精神医療を提供する。
- 地域移行を推進するための体制を充実・強化し、患者本人への退院意欲の喚起・醸成、本人意向に沿った移行を支援するとともに、地域で安心して生活できるよう、地域の保健、医療、福祉、教育機関等と連携して支援を行う。

基本情報

病床数	462床（精神462床）
診療科目 （6科）	精神科 児童思春期精神科 老年精神科 脳神経外科 内科 歯科

認定施設	災害拠点精神科病院 精神科救急医療センター 認知症疾患医療センター 依存症専門医療機関（アルコール健康障害） 依存症治療拠点病院（同上） 厚生労働省指定協力型臨床研修病院
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

業務量等

	R4年度実績	R5年度見込	R6年度計画	R7年度計画	R8年度計画	R9年度計画	R10年度計画
病床利用率（％）	59.6	66.5	71.6	71.7	71.7	71.7	71.7
入院患者数（人／日）	151	169	182	182	182	182	182
外来患者数（人／日）	203	204	203	203	203	203	203
入院単価（円）	27,861	28,239	29,567	29,713	29,864	30,007	30,165
外来単価（円）	6,921	7,150	7,044	7,054	7,062	7,065	7,065

地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能、目指す姿

－ こども病院

役割・機能、目指す姿

- 小児専門病院として、他の医療機関等との役割分担と連携のもと、小児・周産期、小児救急、小児がんに関する高度専門・特殊医療を提供する。
- 総合周産期母子医療センターとして、他の医療機関では対応困難なハイリスクの妊婦や胎児、新生児に対応するとともに、広域搬送調整拠点病院の役割を担い、ハイリスク妊産婦の他府県との搬出入等にかかる広域連携に取り組む。
- 小児救命救急センターにおいて、他の医療機関では対応困難な重症患者に対する小児三次救急医療を提供するとともに、県内の地域小児医療センターや小児科救急対応病院群輪番制参加病院に対する診療支援を行うなど小児救急医療のネットワーク化に取り組む。
- 小児がん拠点病院及びがんゲノム連携病院として、関係機関と連携して質の高い小児がん医療、がんゲノム医療を提供する。
- 合併症小児患者や長期入院患者が安心して在宅療養に移行できるよう、在宅療養重症児の短期入院を受入れる在宅療養移行支援病棟の運用や、地域の保健・医療・福祉関係施設等との連携強化に取り組む。

基本情報

病床数	290床（一般・高度急性期290床）	認定施設	小児救命救急センター 小児中核病院 総合周産期母子医療センター 広域搬送調整拠点病院 地域医療支援病院 小児がん拠点病院 がんゲノム医療連携病院 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院 厚生労働省指定協力型臨床研修病院 日本医療機能評価機構機能評価認定病院 S O 1 5 1 8 9（臨床検査室認定）
診療科目 (27科)	循環器内科 腎臓内科 脳神経内科 血液・腫瘍内科 代謝・内分泌内科 周産期内科 新生児内科 心臓血管外科 脳神経外科 小児外科 整形外科 形成外科 精神科 アレルギー科 リウマチ科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 病理診断科 救急科 小児歯科		

業務量等

	R4年度実績	R5年度見込	R6年度計画	R7年度計画	R8年度計画	R9年度計画	R10年度計画
病床利用率 (%)	80.5	83.8	84.1	84.1	84.1	84.1	84.1
入院患者数 (人/日)	227	243	244	244	244	244	244
外来患者数 (人/日)	460	461	461	461	461	461	461
入院単価 (円)	105,169	105,994	108,027	108,348	108,674	109,005	109,337
外来単価 (円)	17,491	17,684	17,654	17,655	17,656	17,654	17,654

地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能、目指す姿

－ 災害医療センター

役割・機能、目指す姿

- 平時は、高度救命救急センターとして、ドクターカーや救急ヘリ等の積極的な活用を図り、重篤な救急患者に対する救命医療を担うとともに、広範囲熱傷や指肢切断等の特殊救急疾患患者に対応し、三次救急医療機関としての役割を果たす。今後、消防、海上保安庁等の病院前救護に関わる組織や救急医療機関と一層の連携を図り、質の高い医療を多数の救命救急患者に提供する病院を目指す。
- 有事においては、基幹災害拠点病院として、また県災害医療システムの中核施設として、災害時における医療に関して司令塔的役割を担う。そのため、今後発生が予想される東南海・南海地震等の自然災害やテロなどの特殊災害等に対応する災害拠点病院を中心とした医療協力体制の強化を推進する。
- 上記の目的を達成するため、DMAT 隊員養成研修を含む救急・災害医療に従事する多職種を対象とした様々な研修や訓練を積極的に実施し、必要な人材の育成を図る。

基本情報

病床数	30床（一般・高度急性期30床）
診療科目 （11科）	内科 循環器内科 脳神経内科 外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 放射線科 麻酔科 救急科

認定施設	高度救命救急センター 救命救急センター 基幹災害拠点病院 DMAT 指定病院 厚生労働省指定協力型臨床研修病院
------	---------------------------------------------------------------------

業務量等

	R4年度実績	R5年度見込	R6年度計画	R7年度計画	R8年度計画	R9年度計画	R10年度計画
病床利用率（％）	77.4	76.4	76.4	76.4	76.4	76.4	76.4
入院患者数（人／日）	23	23	23	23	23	23	23
外来患者数（人／日）	3	1	1	1	1	1	1
入院単価（円）	178,717	180,852	180,852	180,852	180,852	180,852	180,852
外来単価（円）	94,349	332,383	332,383	332,383	332,383	332,383	332,383

地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能、目指す姿

ー リハビリテーション中央病院

役割・機能、目指す姿

- 全県のリハビリテーション医療の中核病院として、他院では対応が困難な脊髄損傷や四肢切断等の重度障害、高度脳機能障害患者等に対する高度専門的なリハビリテーション医療や、人工関節手術・脊椎手術患者等の術前・術後における先進的・包括的なリハビリテーション医療を提供する。
- リハビリテーション医療における新しい技術の開発や、他の医療機関等に対して技術・学術連携等を行う。
- 子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センターにおいて、脳性麻痺、肢体不自由、睡眠障害などへのリハビリテーションを行うとともに、スポーツ医学診療センターにおいて、適切な診断・高度な治療・復帰へ向けたパフォーマンスを重視し、高いレベルでのスポーツ復帰をサポートする。
- 地域のリハビリテーション関係機関や総合リハビリテーションセンター内関係施設と連携し、カンファレンスや在宅復帰支援、看護師・セラピスト等による自宅訪問、退院患者の在宅生活継続支援、若年脳卒中者・高次脳機能障害者の就労支援等、入院から在宅までの一貫したサービスを提供する。

基本情報

病床数	520床（一般・回復期330床、非稼働190床）	認定施設 結核指定医療機関 難病医療専門協力病院 日本医療機能評価機構機能評価認定病院
診療科目 (14科)	内科 循環器内科 脳神経内科 整形外科 リウマチ科 小児科 神経小児科 小児精神科 泌尿器科 眼科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 歯科	

業務量等

	R4年度実績	R5年度見込	R6年度計画	R7年度計画	R8年度計画	R9年度計画	R10年度計画
病床利用率 (%)	72.5	78.8	82.9	82.9	82.9	82.9	82.9
入院患者数 (人/日)	239	260	274	274	274	274	274
外来患者数 (人/日)	234	231	233	233	233	233	233
入院単価 (円)	39,935	39,843	41,149	41,149	41,149	41,149	41,149
外来単価 (円)	17,214	16,914	16,737	16,737	16,737	16,737	16,737